

職員による自己評価

A環境面

- ・万が一の事態に備え、職員の適切な配置やスペースの確保を行っています。
- ・マンツーマン対応が必要なお子さまもおり、時に人員が不足すると感じる場面があります。

B児童への支援内容

- ・3カ月に一度、保護者さまおよびお子さま向けにモニタリングを記載した通信物を配布しています。
- ・職員全体でレクリエーションや療育内容を企画し、支援が特定の内容に偏らないよう配慮しています。
- ・工作や調理活動などの行事については、計画書を作成し、目的や目標を明確にした上で実施し、当日の夕礼で振り返りを行っています。

C関係機関との連携

- ・会議の都度、適切な職員を参画できるようにしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・お迎え時にお子さまの当日の様子を丁寧にお伝えする時間を設けています。
- ・毎月、通信を発行し、支援の様子をお知らせしています。
- ・Web連絡帳を活用し、活動写真を毎日お送りすることで、保護者さまがより分かりやすくお子さまの様子をご覧いただけるようにしています。

E非常対応

- ・年に2回の防災訓練を実施し、実施状況については連絡帳や通信を通じて保護者さまへご報告しています。
- ・マニュアルを作成し、年度ごとに職員へ配布しています。

保護者による評価

A環境面

- ・活動に十分な広さがある。
- ・入口に段差があるが、手すりを設置しており対応している

B児童への支援内容

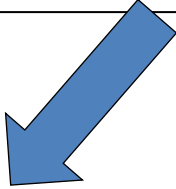
- ・充実したプログラムを提供してもらっている。

C事業所からの情報発信

- ・連絡帳がアプリになり、毎日写真が見られて良い。
- ・SNSで毎日の活動が確認できる

D非常対応

- ・避難訓練も実施してくれている。



事業所内での分析

**【共通点】**

- ・日々の支援には満足いただいている
- ・支援計画内容にも評価いただけている
- ・非常災害対策の実施
- ・通信やSNSでの活動報告
- ・Web連絡帳で毎日写真で報告できるようになり、安心材料になっている。

**【相違点】**

- ・特になし

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- 「安心・安全な環境の整備
- ・万が一の事態に備えた職員配置やスペースの確保を徹底し、落ち着いて過ごせる環境を提供。
- 個別支援の充実
- ・一人ひとりの特性や発達段階に応じたマンツーマン対応や小集団支援を実施し、無理なく成長をサポート。
- 発達を促す多様な療育プログラム
- ・感覚統合・コミュニケーション・社会性向上を目的としたレクリエーションや療育活動をバランスよく提供。
- ・工作や調理活動では目的・目標を明確にし、計画的な学びの場を創出。
- 保護者との連携と情報共有の強化
- ・お迎え時の丁寧なフィードバックやWeb連絡帳の活用により、日々の成長を共有しながら支援を進める。
- ・定期的なモニタリングと通信発行を行い、支援の見え方を徹底。

### 事業所の改善点

- ・丁寧なケアを心がける
- ・家族会の実施
- ・マンツーマン対応などでも安全に対応できる人員の確保

### 事業所の改善への取り組み

Web連絡帳を導入したことでより見える化となり、安心材料になったと思う。  
支援内容に偏りや固定化されないように注意して対応していく。  
より子供達が成長できる環境を整えていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

特にマイナスなご意見はなかったが、より満足いただけるように支援していき、ご家族とのコミュニケーションも増やしていく。

事業所名 パレットハウス児童デイサービス和田町  
担当者 石井 翔太